






工事・会計管理部 成果報告

工事・会計管理部長 佐野 仁 則

部局達成度

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| - | 2 | - | 2 | - |

総括

工事・会計管理部では、適正な公共事業の推進及び効率的な会計事務の管理・運用に努めてきました。

工事管理においては、計画的で効果的な行政運営を目指す中、職員の技術水準の向上と技術継承を図るため、研修計画に基づいた研修及び最新技術等の情報提供に努めました。また、公共工事のコストの最適化や現場の安全管理を推進し、適正な公共工事の執行及び品質の確保を図るため、工事設計時の審査と工事施工中の監察及び検査に努めました。

会計管理においては、会計事務に関する研修や適切な事務手順の周知、指導を実施するとともに、引き続きチェック体制の強化を図りながら、職員の会計事務能力の向上に努めました。また、日々の収支状況を的確に把握し、安全かつ確実な方法で資金管理の運用に努めました。

今後も、事務事業執行部門から独立したチェック機能を持つ部として、公共事業や会計事務の適正な執行について審査するとともに、公金の効率的な管理運用に努めていきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコストの最適化と品質確保及び現場の安全管理を推進するとともに、技術職員のスキルアップにつながる研修や、技術的な指導・助言を実施します

建設工事の生産性向上・建設業の働き方改革の推進については、生産性向上委員会や技術管理検討委員会、工事監督職員研修等を通じて週休2日制度の取組を促した結果、対象工事の82.2%が週休2日制促進工事で発注されました。また、建設現場における遠隔臨場については、体験会の実施や試行を実施し、そこで出た意見等を取り入れた試行要領を作成しました。

技術職員の人材育成については、技術職員研修計画に基づき、監督職員や主任監督職員研修の外、建設現場における苦情や不当要求に関する専門研修を開催し、職員の意識改革と技術力向上を図りました。また、第10回目となる技術研究発表会を実施し、職員の技術力及びプレゼンテーション能力の向上に取り組みました。

工事現場の適正な施工体制の確保については、工事監察において改善すべき事項があった場合、監督職員及び受注者に対して指導、助言を行いました。さらに、工事監察研修で、過去の指摘事項等を含めた内容の説明を行うことにより、適正な施工体制の理解や意識啓発を図りました。





II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の会計実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な管理運用に努めます


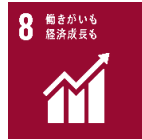

適正な会計事務の執行については、定期監査で指摘事項のない所属の割合が 88.0%となり、目標を達成できませんでした。今後も「定期監査後の全庁共有・対応フロー」により、引き続きチェック体制の強化を図ります。

また、法令・規則に基づく収入・支払事務が適正に行われるよう、職員を対象に会計事務研修会を開催したり、会計事務 e ラーニング研修の動画教材を、新たに 2 つ制作し研修動画教材の充実に努めました。

公金管理においては、日々の収支の見込みを的確に把握し、細心の注意を払いながら資金管理を行うとともに、安全かつ確実な方法できめ細かに運用しました。



I. 適正で合理的な公共事業推進のため、審査、検査及び監察を通して公共工事のコストの最適化と品質確保及び現場の安全管理を推進するとともに、技術職員のスキルアップにつながる研修や、技術的な指導・助言を実施します

| | | | | | |
|--|---|--|---|-----|---|
| 1 |  建設工事の生産性向上・建設業の働き方改革の推進 |  |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>建設業における担い手確保のため、働き方改革を発注者の立場で推進します。研修等により職員の意識改革を行うとともに、建設業者の実態を把握しながら週休2日制工事の発注を促進します。</p> <p>また、工事の監督業務を効率化するため、Web会議システムを利用した建設現場の遠隔臨場等の取組を実施します。</p> | | | | |
| 取組内容 | <p>○関係課職員の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回福井市建設工事生産性向上委員会の開催（5月17日） 福井市建設工事生産性向上・働き方改革指針及び令和4年度の取組方針に関する説明 ・第2回福井市建設工事生産性向上委員会の開催（2月14日） 建設現場の遠隔臨場及び令和5年度の取組方針に関する説明 <p>○週休2日制工事の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル工事による試行からステップアップした促進工事による工事発注 ・設計審査や研修等の機会を利用して、職員に促進工事の発注を指導 <p>○建設現場の遠隔臨場に係る取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「建設現場の遠隔臨場」の機器・システムに関する体験会の開催（1月27日）：6所属職員を対象として、機器等の体験により遠隔臨場の理解を促進 ・道路課と技術管理課が協力して遠隔臨場の試験実施を行い、実施方法等について確認 ・試行要領の策定検討 関係課の職員で構成する技術管理検討委員会において試行要領を検討 | | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| <p>週休2日制促進工事の発注割合 ：49%（3年度）→75%（4年度）</p> <p>建設現場の遠隔臨場に関する要領の策定：年度末</p> | | | <p>週休2日制促進工事の発注割合：82.2%</p> <p>建設現場の遠隔臨場に関する要領の策定：3月に策定</p> | | |
| 成果・課題 | <p>週休2日制の取り組み方について、職員の意識啓発に取り組んだ結果、週休2日制促進工事の発注割合が82.2%まで増加し、令和4年度の目標を達成することができました。</p> <p>また、建設現場の遠隔臨場について、体験会の開催等により職員の意識を高めるとともに、試行要領の検討を行い、試行開始に向けた準備を整えることができました。</p> <p>来年度は、令和6年4月に施行される、建設業における時間外労働時間規制の適用開始を踏まえ、週休2日制工事に関して、さらに発注者としての対応を充実させます。</p> <p>建設現場の遠隔臨場については、来年度から試行を開始し、実施を通じて課題を明らかにするとともに、遠隔臨場の普及拡大を図ります。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|---|--|---|-----|---|
| 2 | 技術職員の人材育成 |  4 質の高い教育を みんなに |  8 働きがいも 経済成長も | 達成度 |  |
| 実 行 内 容 | | | | | |
| 行動目標 | <p>技術職員に必要な基礎技術、現場の安全管理等を習得するため、「技術職員研修プログラム」に基づき研修会を行います。研修内容については、工事検査、工事監査及び会計実地検査などの結果を反映し、工事の品質確保につなげることや、若手職員に伝える・育てる技術継承について重点的に取り組みます。</p> <p>あわせて、公共工事の計画や工事現場で起きた事案とその対処法などをまとめた「工事苑」について、職員に活用を促し情報を共有することで、同じ失敗を繰り返さないようにします。</p> <p>また、受講者が時間や場所にとらわれず、効率よく習得できる研修環境を整えるため、開催形態としてe-ラーニング等の動画等を活用した新たな研修方法の構築に取り組み、来年度の本格導入を目指します。</p> <p>さらに、「公共工事等技術研究発表会」を行い、若手職員の業務改善への意識向上に努め、その取組内容を市民に広くPRすることで、公共工事への理解とイメージアップを図ります。</p> | | | | |
| | 取組内容 | <p>研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新採用職員研修〔前期〕（関連法規、設計積算）：5月10日（参加者 7人） ○新採用職員研修〔後期〕（工事設計、施工管理）：10月19日（参加者 7人） ○工事監督職員研修（設計積算、施工管理、検査）一部動画研修：8月1,2日（参加者 29人） ○主任監督職員研修（入札・支払事務等）：8月25日（参加者 33人） ○ソフト実務研修〔積算システム〕 <ul style="list-style-type: none"> 〔電子納品入門編〕：5月18日（参加者 7人） 〔土木CAD・入門編〕：5月18日（参加者 10人） 〔土木CAD・入門編〕：5月23日（参加者 9人） 〔建築CAD・入門編〕：6月24日（参加者 4人） 〔土木CAD・スキルアップ〕：8月04日（参加者 4人） 〔電子納品・スキルアップ〕：8月04日（参加者 4人） 〔情報共有システム〕：6月16,17日（参加者 9人） ○専門研修（苦情及び不当要求）：8月25日（参加者 62人） ○現場研修会（現地見学）：11月22日（参加者 20人） <p>公共工事等技術研究発表会の開催：10月28日（発表数 10件）</p> | | | |
| 指 標 | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | |
| 技術職員研修会の理解度：90%以上 研修会におけるe-ラーニングの導入：1回 公共工事等技術研究発表会の開催：1回 | | | 技術職員研修会の理解度：97.5% 研修会におけるe-ラーニング（動画）の導入：1回 公共工事等技術研究発表会の開催：1回 | | |
| 成果・課題 | <p>職員研修については、年間13回開催し、参加者数は延べ205人でした。アンケートによる研修の理解度は97.5%で、目標を達成することができました。理解度が100%に達しなかった研修については、電話やメール等による質問を受付け、その内容について個別に説明や解説をする等、フォローアップに努めました。</p> <p>「工事苑」については、令和4年度には、市役所内の工事現場の土木部門で2事例、建築部門で1事例が集まり、総計で、土木部門30事例、建築部門18事例、電気・機械部門7事例、工事監察部門3事例となり、令和5年3月に令和5年度版を発刊し、情報共有に努めました。</p> <p>工事監督職員研修においては、一部の内容について研修動画を自主制作し、研修当日に受講できなかった職員や関心のある職員が、都合の良い時間に閲覧できるよう庁内に公開するなど、繰り返し学習できるようにしました。</p> <p>また、「公共工事等技術研究発表会」では、職員が業務において行った創意工夫について10件発表があり、発表内容をホームページで公開しました。</p> <p>次年度からは、受講者が時間や場所にとらわれず、効率よく習得できるよう、動画等を活用したオンライン研修にも取り組みます</p> | | | | |

| 3 | 工事現場の適正な施工体制の確保 |  |  | 達成度 |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------|---|--|------|-----|----------|----------|-----|---------------------|-----------|----|---|-----|-------------|-----------|----|---|-----|-------------|-----------|----|---|-----|---------------|----------------------------|----|---|-----|---------------|----------------------|----|---|-----|-------------------|------------------------|----|---|----|--|--|-----|---|
| 実行内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 行動目標 | <p>公共工事の品質を確保するため、工事現場における安全管理や適正な技術者の配置、下請負の状況等に対して工事監察を実施し、各関連法規の遵守状況を確認します。</p> <p>また、その結果を周知するとともに改善すべき事項については、監督職員等に対して指導、助言し是正を求めます。</p> <p>さらに、過去の指摘事項等を踏まえて、適正な施工体制の理解と意識啓発を図るため、工事監察研修を実施します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取組内容 | <p>○工事監察による指摘率</p> <table border="1" data-bbox="295 622 1492 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>強化期間</th> <th>実施日</th> <th>監察件数 (件)</th> <th>指摘件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>(R4) 5/23 ~ 6/ 3</td> <td>5/27、5/30</td> <td>20</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>7/18 ~ 7/29</td> <td>7/20、7/27</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>8/15 ~ 8/26</td> <td>8/17、8/22</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10/ 1 ~ 10/28</td> <td>10/17、10/18 10/19、10/21</td> <td>15</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>11/14 ~ 11/25</td> <td>11/15、11/21 11/22</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>(R5) 1/16~1/27</td> <td>1/17、1/19 1/23、1/24</td> <td>27</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>109</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>各工事監察直後に監察結果や指摘事項に対する原因や改善策を技術インフォメーション掲載 (6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事監察で指摘された件数(A) : 7件 工事監察件数(B) : 109件 ・指摘率(A/B) $7/109=6.4\%$ <p>○工事監察研修に対する理解度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 : 5月 (内容 : 監察パトロールについて) ・第2回目 : 9月 (内容 : 過去の指摘事例と再確認事項) <p>理解できたと回答 (A) : 69人 / 回答人数 (B) : 72人</p> <p>アンケートによる調査において理解できたと答えた人数 (A) / 回答人数 (B) = 95.8%</p> | | | | | | 強化期間 | 実施日 | 監察件数 (件) | 指摘件数 (件) | 第1回 | (R4) 5/23 ~ 6/ 3 | 5/27、5/30 | 20 | 1 | 第2回 | 7/18 ~ 7/29 | 7/20、7/27 | 17 | 1 | 第3回 | 8/15 ~ 8/26 | 8/17、8/22 | 11 | 0 | 第4回 | 10/ 1 ~ 10/28 | 10/17、10/18 10/19、10/21 | 15 | 0 | 第5回 | 11/14 ~ 11/25 | 11/15、11/21 11/22 | 19 | 1 | 第6回 | (R5) 1/16~1/27 | 1/17、1/19 1/23、1/24 | 27 | 4 | 合計 | | | 109 | 7 |
| | 強化期間 | 実施日 | 監察件数 (件) | 指摘件数 (件) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | (R4) 5/23 ~ 6/ 3 | 5/27、5/30 | 20 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2回 | 7/18 ~ 7/29 | 7/20、7/27 | 17 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3回 | 8/15 ~ 8/26 | 8/17、8/22 | 11 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4回 | 10/ 1 ~ 10/28 | 10/17、10/18 10/19、10/21 | 15 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5回 | 11/14 ~ 11/25 | 11/15、11/21 11/22 | 19 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6回 | (R5) 1/16~1/27 | 1/17、1/19 1/23、1/24 | 27 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 109 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 画 | | | 結 果・成 果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事監察による指摘率 : 6%以下 工事監察研修に対する理解度 : 90%以上 | | | 工事監察による指摘率 : 6.4% 工事監察研修に対する理解度 : 95.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果・課題 | <p>工事監察研修については年間2回開催し、アンケートの回答による研修の理解度は95.8%で、目標を達成することができました。</p> <p>しかし、工事監察による指摘率は6.4%で、目標の6%以下を達成できませんでした。109件の工事監察を実施し、技術者の配置や下請負の状況等を確認した結果、施工体制台帳の不備などが7件あり、改善を促しました。</p> <p>今後は、工事現場の施工体制などの順守を強化するため、チェックシートを新たに作成し、各監督職員が事前確認を徹底することで、工事現場における適正な施工体制の確保を図ります。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

II. 適正な会計事務を継続的に確保していくため、職員の会計実務能力の向上を図るとともに、公金の安全かつ効率的な管理運用に努めます

| | | | | |
|--|--|---|-----|---|
| 4 | 適正な会計事務の執行と公金の効率的な管理運用 |  | 達成度 |  |
| 実行内容 | | | | |
| 行動目標 | <p>法令・規則に基づく適正な会計事務を継続するため、職員研修会での指導内容の充実や新たに制作したe-ラーニング研修動画の活用、チェック体制の強化により、職員の会計実務能力の向上を図ります。</p> <p>さらに、現金及び金券等を取扱う所属に対しては現地検査を実施し、適正な取扱いを徹底します。また、公金管理においては、収支計画及び資金状況を正確に把握し、安全で効率的な管理運用に努めます。</p> | | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○会計事務（出納、財政、財産、契約、監査部門）研修会の実施（5月27日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 課長補佐・副課長、係長 97人出席 ・内容 全庁的課題及び定期監査結果(指摘事項等) ○動画を活用した研修動画の追加作成（6月～12月） <ul style="list-style-type: none"> ・歳出に係るeラーニング研修動画教材（2講座）を追加作成 ○金融機関検査の実施（7月11日～7月28日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 指定金融機関：福井銀行 収納代理金融機関：みずほ銀行ほか13機関 ○現金等保管状況調査・実地検査の実施（9月1日～11月22日） <ul style="list-style-type: none"> ・対象 38所属（指摘事項のある所属 6所属） ・指導事項について、改善結果報告書を提出（1月末まで） ○適正な経理手順の周知・指導 <ul style="list-style-type: none"> ・定期監査結果に係る全庁共有・対応フローにより実施（10～3月） ○公金管理運用委員会の開催（11月15日） <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関経営状況、資金管理及び運用状況等を報告 ○定期監査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・対象所属(A)：50所属 指摘なし(B)：44所属 指摘あり(C)：6所属 ・指摘のない所属の割合(B/A) 44/50=88.0% 指摘のあった所属の割合(C/A) 6/50=12.0% | | | |
| 指 標 | | | | |
| 計画 | | 結果・成果 | | |
| 会計事務研修会の理解度：90%以上 定期監査で指摘事項のない所属の割合：96%以上 | | 会計事務研修会の理解度：97.5% 定期監査で指摘事項のない所属の割合：88.0% | | |
| 成果・課題 | <p>会計事務について、定期監査で指摘事項のない所属の割合については、6所属が指摘を受け、88.0%になったため、目標の96%以上を達成することができませんでした。指摘を受けた内容を全庁的な事案と捉え、改善していくとともに、今後も「定期監査結果に係る全庁共有・対応フロー」に基づき、リスク管理の強化を図っていきます。</p> <p>また、収入・支払の事務執行を適正に行うため、新たに2つのe-ラーニング研修動画の教材を制作しました。誰もが時間にとらわれず、自席で会計事務を分かりやすく学習できる動画教材の充実を図り、今後も職員の適正な会計事務能力の向上に努めていきます。</p> <p>公金管理については、自然災害や突発的な支払いなど緊急な事案にも対応できるよう、歳計現金の日々の収支を把握し、綿密な収支計画のもと、安全かつ確実な公金管理の運用に努めました。今後も、引き続き細心の注意を払い、関係課との情報共有を図りながら、確実な管理運用に努めます。</p> | | | |